

2024パークレンジャー養成基礎研 第6回講座

---

## 野外活動の安全管理

2024/6/9

NPO法人日本パークレンジャー協会

---



# 1. 自然の危険

自然現象:

地震、雷、火山爆発、火事、台風、洪水、大雪、  
雪崩、土砂崩れ、落石....

危険な生き物:

危険動物:イノシシ、ヘビ、ハチ、クマ(府民の森にはいません)...

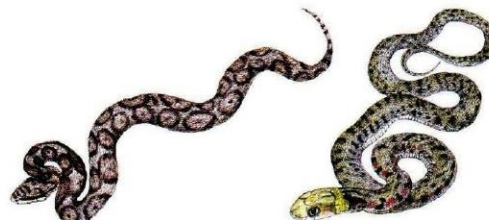
毒を持つ動・植物: 毒蛇、蜂、ムカデ、毒蛾、毒魚、ダニ...  
シキミ、アセビ、ドクゼリ、トリカブト....  
毒キノコ

危険な植物: ウルシ、ハゼ、ヌルデ、イラクサ.....

# 危険な 生きもの



スズメバチやアシナガバチなど



マムシ



ヤマカガシ



ヤマハゼなどウルシの仲間

よく水で洗い流し、濡れタオルなどで冷やすと効果的です。



クサウラベニタケ

中毒例の多い毒キノコです。



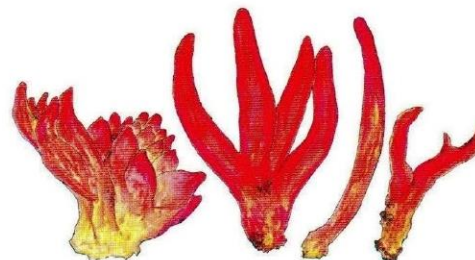
ドクツルタケ

誤食すると死に至る猛毒キノコです。



マダニ

長袖、長ズボンで、裾を靴下・手袋などに入れてマダニの侵入を防止します。活動後は刺されていないか確認し、入浴して身体を洗い付着したダニを落とし、衣服は洗濯します。吸血中のマダニは、無理に取り除かず皮膚科で処置してもらいましょう。数週間間に発熱等の症状がでたら感染症を疑い病院を受診してください。



カエンタケ

キノコに触れるだけで炎症を起こすほど猛毒です。大阪府内でも確認されていますので注意しましょう。

## 2. 人が行動することによる危険

山: 転倒、滑落、転落、接触、路迷い……

川: 溺れる、流される、増水による孤立…

海: 溺れる、流される、高波にさらわれる…

食: 毒キノコ、毒草、食あたり…

道具: 刃物による傷…

野外料理: 火傷、切り傷、食あたり…

遊具: 接触、放り出される、挟まれる…

山作業: 転倒、刃物傷、切株で傷、落枝、チェーンソー…

その他: 遊び道具が相手に当たる、目に異物、ソゲ刺さり…

社会: 乗り物の事故、工事現場、学校…

---

ものごとは必ず秩序がない方向に動く(エントロピー増大の法則)

### 3. 野外 活動主催者の責任

事前に危険の予知と対応を考える責任がある

例1: 「子ども会のハイキングで川遊びで子供が水死した」  
下見して本番で遊ぶ範囲(深さ10-20cm)を決めて遊ばせたが、範囲外に出て遊んだ子が溺れて死亡した  
損害賠償責任 (引率の役員に対し526万円)  
事前に危険予知し対策する責任、監督する責任

例2: 「至近距離で竹トンボを飛ばし友だちの子が負傷した」

少年団の子Aが竹とんぼを至近距離で飛ばして隣の子Bに当たり目を負傷させた。団長は事前に人の近くで飛ばしてはいけないと注意していた

損害賠償責任 (子Aの両親と少年団団長)

責任者の危険の予知と対策、監督の責任

ボランティアであっても適切な対応をしないと責任が問われます

## 4. 催しの主催者が実施すべき安全管理

ボランティアは**危険の予知と対策と監督する責任がある**  
万一来るに備えその対応に習熟しておく必要がある

- ①危険の予知と対策(安全管理マニュアル)  
下見で危険の確認とその対策法を考える  
報告書(ヒヤリ、ハット) → チェックリスト
- ②参加者に予測される危険と注意を告知する(自分の身は自分で守る) → 別紙
- ③救急用具：救急用品を揃え携行(包帯、絆創膏....) → 救急セット
- ④救急法の習得：心肺蘇生法、AEDの使い方、応急処置法 → 必修研修
- ⑤保険を掛ける(ボランティア保険、イベント保険) → 別紙

## 参考

### 参加者に 安全告知

#### 領収証

様

金 円 催し名「 」

安全に楽しく自然を体験していただくために

- ① 野外の活動では基本的に自分の身は自分で守って下さい
- ② 保護者の方はお子様を見守り安全には十分に注意して下さい
- ③ 主催者の注意事項をよく守りスタッフの指示に従って行動して下さい
- ④ 催し中に体調不良で行動できないと思ったらすぐスタッフに連絡して下さい

年 月 日

NPO 法人日本パークレンジャー協会  
〒540-0012  
大阪市中央区谷町 2 丁目 2-20  
大手前類第 1 ビル 2F Canvas 谷町 F09



## 保険

保険の種類	クレンジャーの ボランティア保険	参加者障害保険 (イベント保険)	森林ボランティア 保険
取扱会社	社会福祉協議会 (三井住友海上)	ジェイアンドエス 保険サービス	森林ボランティア 協会(甲南保険)
賠償責任	5億円	-	1億円
死亡・後遺症	1800万円	300万円	1000万円
手術	入院日額x5~10倍	入院日額x5~10倍	-
入院(1日当)	9500円	3000円	5000円
通院(1日当)	4000円	1500円	3000円
掛金	500円/人(B7°㊤)	21円/人	Aタイプ

## 5. みんなで安全管理に努める

催しでは役割分担として安全管理担当をおくが  
スタッフみんなで安全に気を配る

事例:

- ① 一つのことに集中していると別の危険が迫っていたりする
  - \* スタッフが解説中、参加者の後ろにある木にスズメバチの群れ
  - \* 参加者がササユリを写真に撮ろうと草むらに入ると…
  - \* クラフトで刃物がむき出してテーブルに置いてありうっかり触った…
- ② メインの活動が終わって帰り道では参加者の気が緩みがちになる
  - \* 子どもがふざけて後ろ向きに歩き転んだ
  - \* ハイキングでグループ間隔が空き参加者の捻挫に気付くのが遅れた

下見ではスタッフみんなで危険を予知し対策を考える  
本番ではスタッフみんなで危険に目配りする  
過去の報告はみんなの気づきの集大成



## 6. おわりに「野外活動の安全管理の五箇条」

- ① 事故は起こるものと考えておく
- ② 参加者に自己責任の意識を持たせる
- ③ 主催者には安全管理の義務と責任がある  
(危険の予知とその対策)
- ④ 安全管理研修と救急法習得は必修事項
- ⑤ 保険に加入する